ビームライン・実験装置　評定票

評価委員名	生命科学分科		
ビームライン名	BL-14B	ビームライン担当者名	平野　馨一
課題数	過多　やや過多　適切　[やや過少]　過少		
混雑度	2倍以上　1.5倍から2倍　1倍から1.5倍　[0.5倍から1倍]　0.5倍以下		
主な研究手法、研究分野とビームライン担当者の位置付け	a X線イメージング	[分野をリード]、分野の中核、分野の一人、分野外	
	b	分野をリード、分野の中核、分野の一人、分野外	
	c	分野をリード、分野の中核、分野の一人、分野外	

ビームラインの性能等について

項目	5	4	3	2	1
適切に保守、整備されて、本来あるべき性能を発揮しているか	5 フル性能を発揮	[4 ほぼ性能を発揮]	3 まあ性能を発揮	2 改善の余地あり	1 改善が必須
取扱は容易か	5 容易	4 やや容易	[3 普通]	2 やや難	1 難
取扱説明書は整備されているか	5 充実	4 やや充実	3 普通	2 やや不足	1 ない

性能・仕様等で特記すべき点、他施設と比較して特記すべき点	本ビームラインは、超伝導垂直ウイグラーにより 10−60eV 非常に明るい偏光 X 線が得られ、基本的にはあらゆる X 線回折・散乱実験が可能である。生物系では、位相コントラスト X 線イメージングの仕事が主であり、高い成果をあげている。
改良・改善すべき点	

実験手法のビームラインとの適合性・研究成果について

※1：光源、ビームライン光学系と研究手法は適合しているか。

手法	項目	評価
手法 a	適合性（※1）	5. 最適　[4. 適切]　3. 妥当　2. やや不適　1. 不適
	研究成果	5.極めて高い　[4. 高い]　3. 妥当　2. やや低い　1. 低い
	コメント、伸ばすべき点、改善すべき点	位相コントラスト X 線イメージングの分野では高い業績をあげている。 ユーザー毎に光学系のセットアップをしなければならず、そのためにどうしても課題数が少ないように感じる（生物系は一人のみ）。工夫できないか？
手法 b	適合性（※1）	5. 最適　4. 適切　3. 妥当　2. やや不適　1. 不適
	研究成果	5 極めて高い　4. 高い　3. 妥当　2. やや低い　1. 低い
	コメント、伸ばすべき点、改善すべき点	
手法 c	適合性（※1）	5. 最適　4. 適切　3. 妥当　2. やや不適　1. 不適
	研究成果	5 極めて高い　4. 高い　3. 妥当　2. やや低い　1. 低い
	コメント、伸ばすべき点、改善すべき点	
総合評価	研究成果	5 極めて高い　[4. 高い]　3. 妥当　2. やや低い　1. 低い
	世界の状況と比較しての評価、ビームライン性能が律速となっている場合はその指摘	位相コントラスト X 線イメージングの仕事は高く評価できる しかし、基本的に生物試料に向かないビームではないのか？ 生物系ユーザー（一人のみ）は、ここで装置開発をした後に BL14C に移りつつある。

実験装置の性能等について

使用している実験装置名(a)					
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を発揮しているか	5 フル性能を発揮	4 ほぼ性能を発揮	3 まあ性能を発揮	2 改善の余地あり	1 改善が必須
取扱は容易か	5. 容易	4.やや容易	3. 普通	2. やや難	1. 難
取扱説明書は整備されているか	5. 充実	4.やや充実	3. 普通	2.やや不足	1. ない
性能、仕様等で特記すべき点					
改良・改善すべき点					

使用している実験装置名(b)					
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を発揮しているか	5 フル性能を発揮	4 ほぼ性能を発揮	3 まあ性能を発揮	2 改善の余地あり	1 改善が必須
取扱は容易か	5. 容易	4.やや容易	3. 普通	2. やや難	1. 難
取扱説明書は整備されているか	5. 充実	4.やや充実	3. 普通	2.やや不足	1. ない
性能、仕様等で特記すべき点					
改良・改善すべき点					

使用している実験装置名(c)					
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を発揮しているか	5 フル性能を発揮	4 ほぼ性能を発揮	3 まあ性能を発揮	2 改善の余地あり	1 改善が必須
取扱は容易か	5. 容易	4.やや容易	3. 普通	2. やや難	1. 難
取扱説明書は整備されているか	5. 充実	4.やや充実	3. 普通	2.やや不足	1. ない
性能、仕様等で特記すべき点					
改良・改善すべき点					

今後のビームラインのあり方について

今後の計画の妥当性について	生命科学に向いた（使用し易い）形にして積極的に利用者を拡大させては				
今後5年間に	高い優先度で予算投入	余裕があれば予算投入	現状維持	投資を抑制すべき	転用の道を探すべき
その他今後の計画に付いての意見	今後、生命科学にどう発展させるか不明である				